

令和8年度 第1回南房総・館山地域公共交通活性化協議会（概要）

- (1) 令和7年度事業報告及び決算報告について 【合同協協議第1号】
令和7年度の事業及び決算について報告。

主な事業では、チョイソコ南房総・館山の運行、公共ライドシェアの実証運行、交通計画策定業務などを実施。

「チョイソコ南房総・館山」の実績報告（R7.4.1～R8.3.31）1,956人※資料有
「南房総・館山地域公共ライドシェア（房総ライド）」の実績報告
（R7.4.1～R8.3.31）136人

- (2) 令和8年度事業計画及び予算について 【合同協協議第2号】

主な事業では、「チョイソコ南房総・館山」の運行のほか、「公共ライドシェア（房総ライド）」の実証運行、公共交通啓発イベントなどを計画。なお、7月から週3日の運行に変更し、実証期間は令和9年3月31日（最大）までとしている。

※資料有（令和8年度事業計画）

- (3) チョイソコ南房総・館山について（一部変更） 【合同協協議第3号】

乗降場所の増減として「98 増間浄水場前」を追加し、「14 白山神社前」を削除する。また、中学生及び高校生の運賃を半額対応とする（R8.6.1～）

- (4) 南房総・館山地域公共ライドシェア実績報告及び今後について

【合同協協議第4号】

前回会議において、期間中の利用が0.66回/日以上でなければ、実証運行を実施しないとしたが、特定の曜日に利用が集中しており、曜日を絞って交通空白時間帯の解消を目指すことし、令和8年7月より週3日（木・金・土）の運行とする。なお、7月～9月を周知期間、10月～12月を集計期間として検証していく。※資料有

- (5) 令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る計画別紙の変更について

【合同協協議第5号】

令和8年度地域内フィーダー系統補助の計画変更に際し、館山市街地循環バスの系統変更及び、路線バス「洲の崎線」の追加を申請するにあたり、協議会の審議を行った。

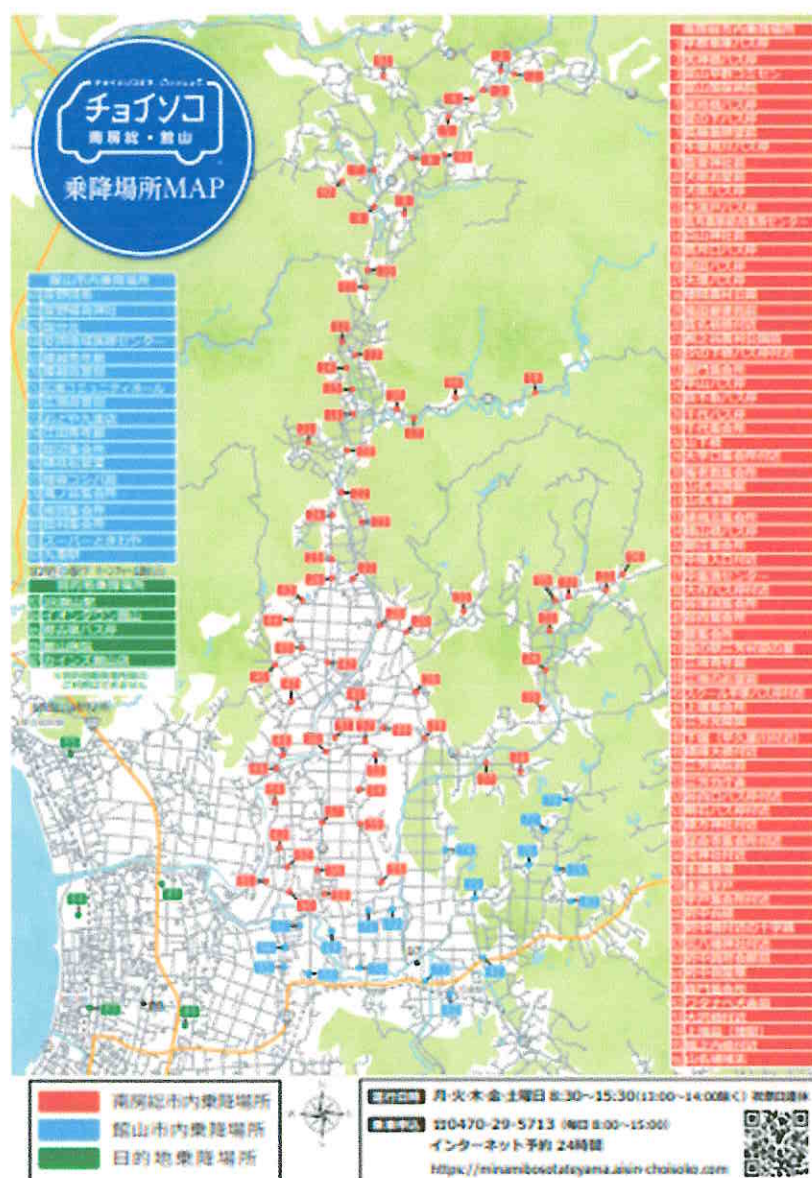
チョイソコ南房総・館山の運行状況について（令和7年度実績報告）

R8.3.31 現在

1 運行概要

運行形態	区域運行による「チョイソコ南房総・館山」の運行
運行経路の概要	・運行区域—南房総市富山地区の一部、南房総市三芳地区全域 館山市九重地区の一部、館山市館野地区の一部 ・運行方法—電話予約等によるデマンド方式による乗合運行
運行時間帯	午前8時30分から午後3時30分まで ※13時～14時は運行しない ※午前9時から乗車ができ、午後3時に降車ができるように運行
運行日	月・火・木・金・土（祝日運休）
乗降場所数	95か所（以下、乗降場所MAP参照）
運賃	1回300円、目的地乗降場所は700円（WEB予約は500円） 運転免許経歴証明書・障害者手帳の提示で半額
運行車両	ハイエース1台（利用定員8名）を基本とし、予備車（セダン車）1台
委託事業者	システム：株式会社アイシン（チョイソコ） 運行事業者：鏡浦自動車株式会社
その他	会員登録：WEB又は申込書による（会員証の発行有） 予約方法：電話又はWEBによる 決済方法：現金のほか各種クレジットカード、電子マネー可 その他：南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の利用可 ※令和5年10月2日より4条乗合による本格運行開始

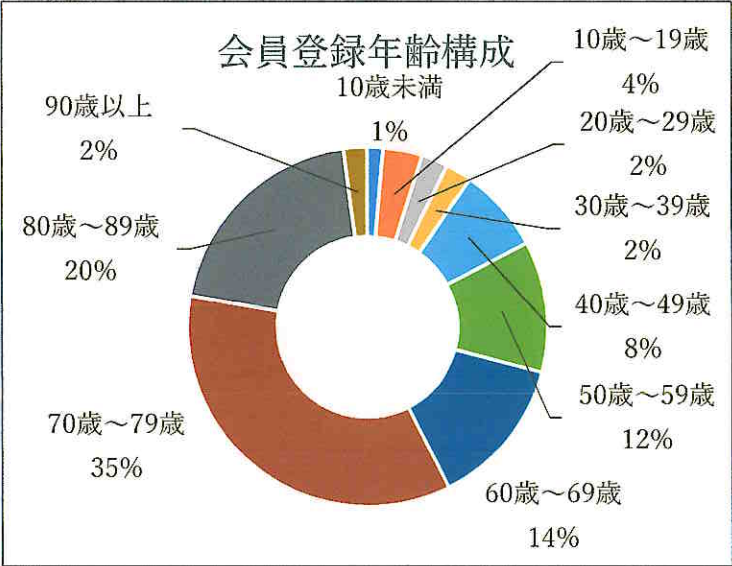
乗降場所MAP



2 令和8年3月31日までの実績（R4.10～）

(1) チョイソコ南房総・館山会員登録状況（4月1日時点）

登録者数			6 6 6 人	割合
性別	男性		2 4 6 人	3 7 %
		60 歳以下	8 8 人	1 3 %
		61 歳以上	1 5 8 人	2 4 %
	女性		4 1 6 人	6 3 %
		60 歳以下	1 2 1 人	1 8 %
		61 歳以上	2 9 5 人	4 5 %
居住地	南房総市内		3 4 0 人	5 1 %
	館山市内		1 4 5 人	2 2 %
	その他		1 8 1 人	2 7 %

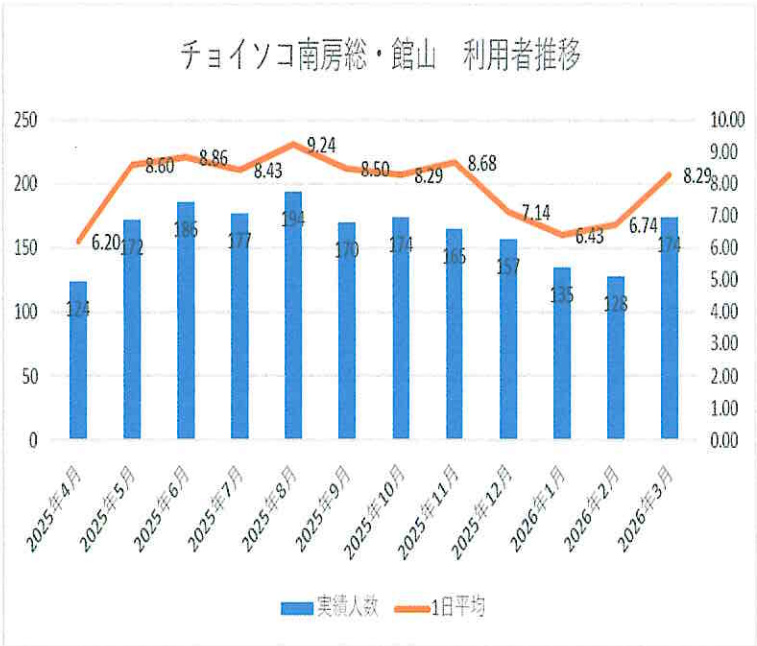


(2) 利用実績

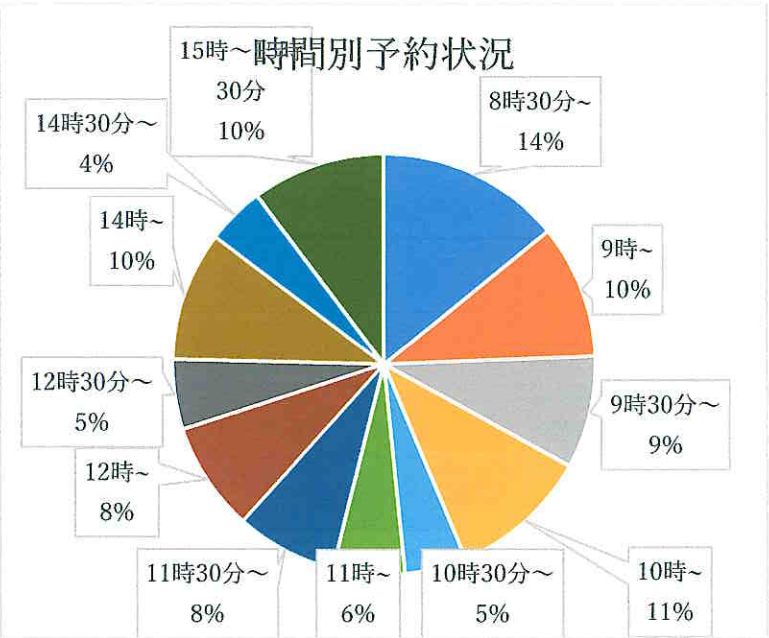
年	運行日数	実績人数	1日平均
R4.10-R5.9	237	1,104	4.66
R5.10-R6.9	245	1,708	6.97
R6.10-R7.9	247	2,038	8.25

R5.4-R6.3	247	1,477	5.98
R6.4-R7.3	245	1,898	7.75

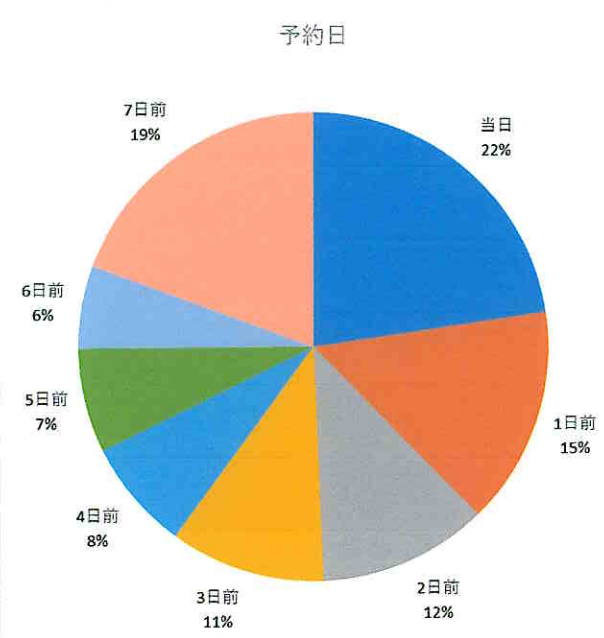
R7.4-R8.3	246	1,956	7.95
-----------	-----	-------	------



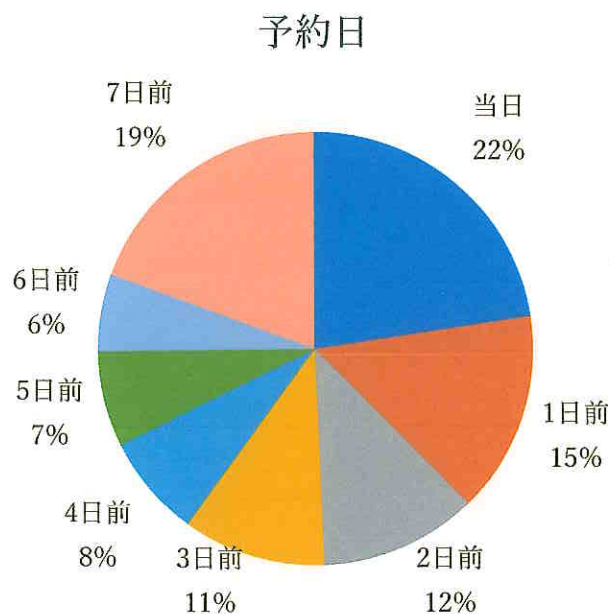
(3) 時間帯の利用状況



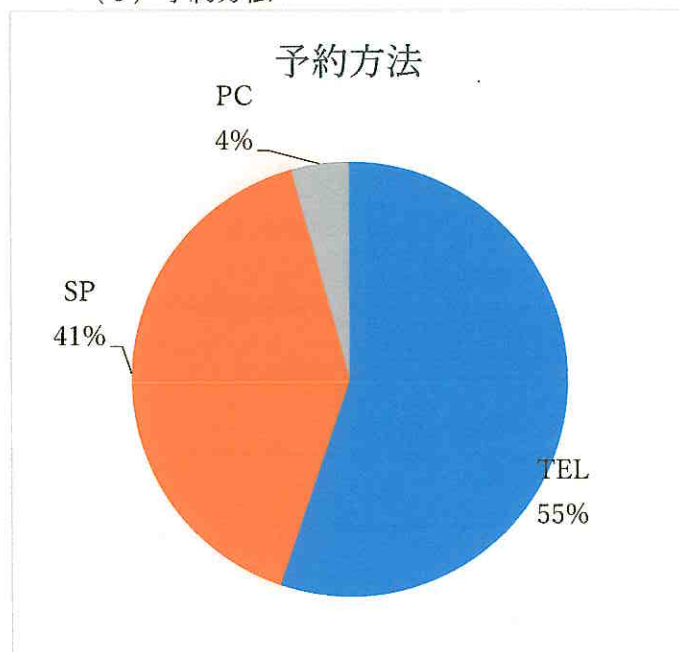
(4) 曜日別利用状況



(5) 予約日の状況

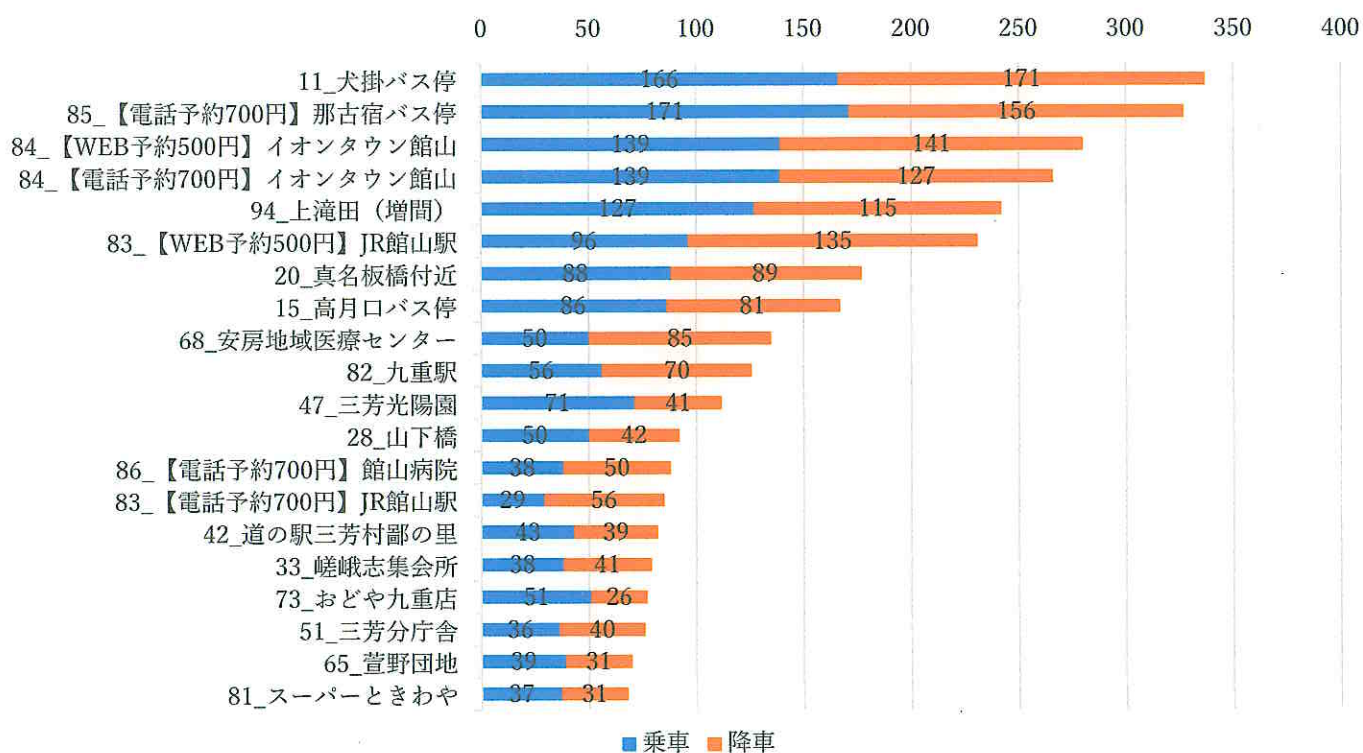


(6) 予約方法



(7) 乗降場所の利用者数

乗降場所別利用者数（上位20か所）



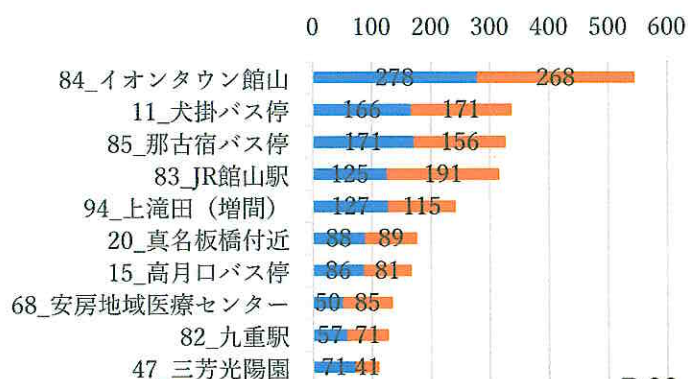
(8) 実績

令和5年10月2日より4条乗合による本格運行へと移行している。利用者数では、令和7年度も少しずつ変化がみられ5月以降は、目標人数の1日平均7名を超える実績があり、この一年の平均は7.95人だった。

また、定期利用者の利用が多くみられたほか、学生利用など新たにご利用いただく方も見うけられた。

一方で、会員登録はするものの利用したことがない方も多くいる現状のため、引き続き、利用促進や周知活動を継続していく。

利用の多い乗降場所（10カ所）



【協議第2号】

南房総・館山地域公共交通活性化協議会 令和8年度事業計画(案)

計画目標	計画への位置づけ	事業名称 【官民連携による利用促進策の展開】 【地域間幹線系統の維持・強化】	具体的内容		予算額
			事業1 広域交通の利便性向上	事業2 地域間幹線系統の利便性向上	
目標1 利用する人にわかりやすく、利便性の高い公共交通ネットワークの確立	事業1 広域交通の利便性向上	【官民連携による利用促進策の展開】 【地域間幹線系統の維持・強化】	路線バス館山市内線、館山鴨川線、南房州本線については、地域間幹線系統となる交通手段のため、地域公共交通確保維持事業を活用しながら、路線の維持・確保に努め利用実態や、市民移動ニーズ等を考慮し、見直しを検討する。	-	-
	事業2 地域間幹線系統の利便性向上	【地域間幹線系統の維持・強化】	●「チヨイコ南房総・館山」の運行 令和5年10月から本格運行に切り替えたチヨイコ南房総・館山の運行に係る費用。 路線バス平群線に代わる移動手段として、これまでのバス路線よりも集落の中まで入り、かつ、路線バスエリア外だった館山市の館野・九重地区(一部)を対象に加え、チヨイコ南房総・館山の運行を継続する。 【運行計画案】 ・補助対象運行期間：R7.10.1からR8.9.30までの1年間 ・実証運行の内容を踏襲して運行を続け、利用者のニーズを把握しながら必要な改善を図る。 ※国のフィーダーシステム補助金(R7.10～R8.9分1,522千円)充当→1,197,814円(南房総市)、324,186円(館山市)	17,838千円	-
	事業3 地域内交通の利便性向上	【地域内フィーダーシステムの維持・強化】	●館山市街地循環バスの運行(フィーダーシステム補助金の充当) 館山市街地エリアにおける循環バスを運行を行い、市街地の回遊性向上を図るとともに、地域住民にとって必要不可欠な生活交通の維持存続に繋げるもの。 【運行計画案】 ・補助対象運行期間：R7.10.1からR8.9.30までの1年間 ・実証運行の内容を踏襲して運行を続け、利用者のニーズを把握しながら必要な改善を図る。 ・館山市予算額(R8:運行委託費30,083千円) ※国のフィーダーシステム補助金(約3,491千円)充当→館山市割り当て分	3,491千円	-
	事業4 交通結節点の機能強化	【符合環境の充実】	交通結節点等における機能充実など、利用者に利便性向上に繋がる取り組みを検討する。	-	-
目標2 交通空白・不便地域の縮小による、外出行動の促進	事業5 交通空白・不便地域の縮小	【既存及び新たな交通モードの横展開】	●公共ライندシェア「房総ライド」 夜間帯の鉄道や高速バス等で館山駅に到着しても、一般タクシーが営業終了している、稼働台数が非常に少ない等の理由で、その先の移動手段を確保できないという声があることから、午後9時以降に公共ライドシェアの実証運行を行っており、令和8年度の運行に関しても、需要を鑑みつつ、夜間帯の移動手段確保を継続する。 【運行計画案】 ・協議第4号のとおり	8,250千円	-
	事業6 観光産業と連携した公共交通利用の増進	【地域交通の観光周遊利用】	地域交通の観光周遊利用や、集客施設等と連携したキャンペーンの取組等を検討するため、地域内関係者との協議を行い、各種事業の企画立案を検討する。	-	-
目標3 観光や商業等のまちづくりとの連携による、地域の活性化及び地域路線の維持	事業7 商業等のまちづくりと連携した利便促進	【集客施設と連携したキャンペーン等の取組検討】	運輸手募集に係る連携・支援の他、地域住民主体による地区内の移動手段確保などへ、可能な範囲での協力を行っていく。	-	-
	目標4 住民、交通事業者、行政との協働による持続可能なまちづくり	【地域住民主体による新たな移動手段の検討】	●スマホ乗車券(企画乗車券)の販売 路線バスの利便性向上に向けた取組みを令和8年度も引き続き行うこととし、スマホ乗車券の販売をバス事業者の協力のもと、継続する。 【実施計画案】 ・種類：①スマホ1日乗車券 ②スマホ2日乗車券 ③スマホ回数乗車券 ・販売期間：R8.4.1からR9.3.31までの1年間 ・令和7年度の内容を継続販売し、適宜、内容の改善や種類の増加を図る。 ●南房総・館山公共交通マップ 令和7年度に作成した、南房総・館山公共交通マップの更新を行い、広報活動を行っていく。	1,000千円	-
目標5 より公共交通に親しんでもらい、利用してもらうための取組展開	事業8 運輸手不足への対応	【運輸情報の一元化】	●PR活動の実施 令和7年度イオンタウン館山店にて実施した、公共交通啓発イベントを再度開催し、公共交通の利用啓発を行う。 【実施内容】 南房総・館山公共交通マップの更新、公共交通啓発イベントの開催。	30,579千円	-
	事業9 わかりやすい情報案内	【住民意識の醸成に資する事業展開】			
目標6 より公共交通に親しんでもらい、利用してもらうための取組展開	事業10 モビリティマネジメントの実施				

南房総・館山地域 公共ライドシェア 実績報告及び今後について

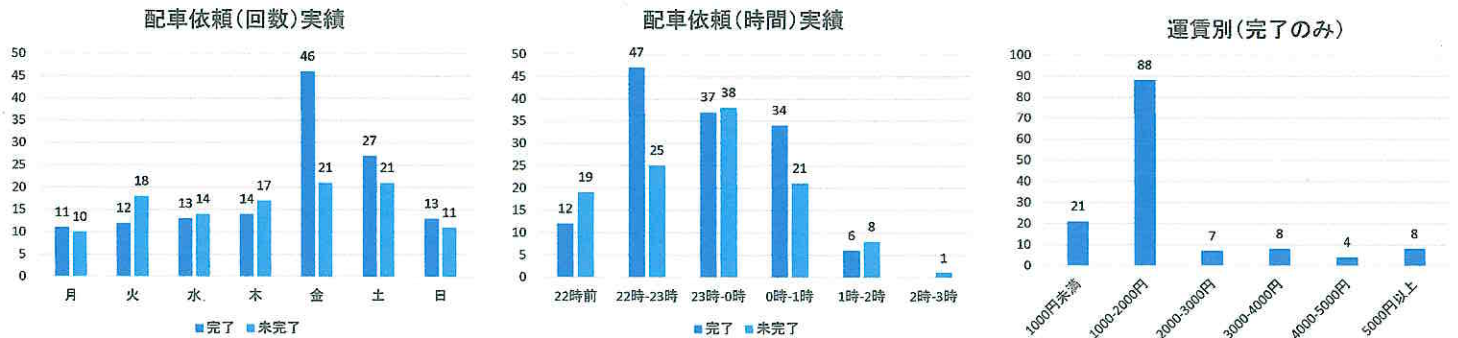
【利用実績】(R7.4-R8.4・稼働日数370日間)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計	4-3計	2-4計
運行日数	16	23	30	31	30	28	31	30	31	31	28	31	30	370	340	89
登録ドライバー数	6	3	5	9	2	0	0	0	1	0	0	0	0	26	26	0
配車依頼回数	8	13	28	26	16	15	15	23	27	13	21	28	15	248	233	64 0.719101
運行利用実績	1	4	20	14	11	5	5	14	16	11	20	15	8	144	136	43 0.483146
キャンセル回数	7	8	2	7	3	8	5	4	5	0	1	9	4	63	59	14
未配車等 利用者都合	1	1	6	5	2	2	5	5	6	2	0	4	3	42	39	7
配車アプリ登録数	48	60	54	59	59	53	48	53	48	65	43	26	37	653	616	106
ダウンロード数	79	95	84	89	89	79	82	66	97	91	55	52	44	1002	958	151
事故・トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運賃収入 (報酬相当額)	1,020	9,500	50,860	28,600	15,150	8,930	10,850	15,500	20,470	26,560	28,950	22,390	12,900	251680	238780	64240
主な乗車地	612	5,700	30,516	17,160	9,090	5,358	6,510	9,300	12,282	15,936	17,370	13,434	7,740	151008	143268	38,544
JR館山駅周 辺	1	3	17	11	10	3	5	11	10	15	13	12	4	115	111	29
南房総市 内		1	2	1	1	1		1	2		4	3	3	19	16	10
安房地域 医療センター			1											1	1	0
主な目的地	1	3	13	12	9	4	4	13	14	13	17	12	5	120	115	34
館山市内			7	2	2	1	1	1	2	2	4	3	3	28	25	10
南房総市 内																
鋸南町内		1												1	1	0

【利用実績】（曜日別、時間帯別、運賃別 R7.4月～R8.4月）

※未完了（キャンセル又は未配車）

- ・完了実績の1日平均は0.38回、配車依頼は0.67回。
- ・完了実績の曜日別は、これまで同様に金曜日が最も多い。（※0時以降の利用は前日の曜日でカウント）
- ・配車依頼実績の時間帯別では、実績は22時台が最も多く、依頼は23時台が多い。
- ・完了実績の運賃別では、近距離利用が多かった。運賃の幅は、570円～6,780円。



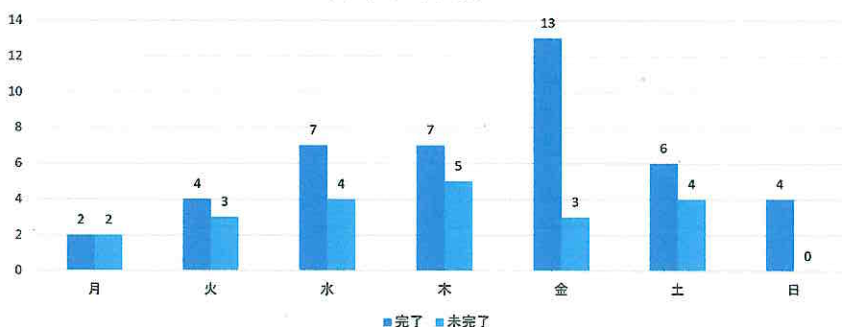
【課題】

- ・ドライバー不足により、需要に応えきれず、配車率が約6割(58%)となっている。
- ・周知不足もあり、SNS等での情報発信後には利用が増える傾向にある。

【今後の実証運行について】

前回会議において、期間中の利用が0.66人/日以上でなければ、実証運行を実施しないとしたが、特定の曜日に利用が集中しており、曜日を絞って交通空白時間帯の解消を目指したい。

配車依頼回数実績 R8.2～4



- ・検証期間中の利用は、金曜日が最も多く、続いて木曜日と週末にかけての利用が多くなっている。
- ・配車未完了と完了を含めると、木、金が多くなっているため、再度実証を検討したい。
- ・上記曜日での利用実績は、0.7人/日となっている。
- ・アプリのダウンロード数は約1,500件となっており、潜在的顧客がいることが想定される。

- ①実証運行の曜日は、配車依頼の多い、木、金、土曜日とする。（集計期間中は水曜日の利用が多かったが、全体を見ると土曜日が多いため）
- ②夜間の交通空白解消を目指すため、周知期間（課題の周知不足解消のため）を設けた上で、配車率100%を目標とする。
※公共ライドシェアとしての側面を考えると、赤字だとしても交通空白の解消を目指す。
- ③実証期間は7月～12月の半年間とし、7月～9月を周知期間、10月～12月を集計期間とする。
- ④実証期間内のドライバー確保のため、運行期間を短縮して余った予算から、昨今の燃料費高騰対策として、自宅以外で待機の場合に、1回500円/日を補償する。（課題のドライバー不足解消のため）
- ⑤実証の結果、現状の配車率の改善が見られる場合は、必要経費を検討した上で、本格運行を再検討、改善が見られない場合は、タクシー借上げを代替案として検討する。

- ・令和7年3月より夜間の移動手段の確保や交通空白時間帯の公共交通の補完を目的にタクシー台数が減少する22時から翌7時までを運行時間とする公共ライドシェアに取り組んでいる。(現在は、21時から翌1時までの運行時間)
- ・房総ライドアプリを構築し、配車アプリによる予約、事前決済による事前運賃確定制度を導入。
- ・運行管理業務は、鏡浦自動車(株)及び日野自動車(株)の連携、ドライバーは、個人による協議会との業務委託契約としている。
- ・JR東日本との連携協定により、社員がドライバー従事者として週1回の協力を得ている。

実施形態	公共ライドシェア(道路運送法第78条2号)(事業者協力型自家用有償運送登録)
実施主体	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
運行管理	鏡浦自動車株式会社及び日野自動車株式会社
運行エリア	南房総市及び館山市域(ただし、発着のいずれかをエリア内とし、鴨川市及び鋸南町までとする)
運行時間帯	20時～翌7時(ただし、ドライバーの確保等の状況により現在は21時～翌1時まで)
利用者	制限なし(専用アプリの登録必須)
配車アプリ	株式会社REA(配車アプリ:房総ライド)
ドライバー	南房総市及び館山市在住及び在勤者(協議会と業務委託契約)
車両	ドライバー所有の自家用車(レンタカーも可とする)
料金	タクシー運賃相当額(事前確定運賃制度を適用)
実施期間	2025年3月3日から(今のところ令和8年度末まで)

※令和8年7月より週3日
(木・金・土)にて運行中

検討案 公共ライドシェアによる交通空白地域での実証運行

●新たな実証運行の取組

・現在、夜の移動手段の確保を目的に実証運行中の「公共ライドシェア」について、今後、タクシーの供給が不足している丸山・和田地区に限定し、日中帯の公共ライドシェアを実証運行にて検証していきたい。南房総市内にある交通空白地域の解消・減少を目的に公共ライドシェアの実証運行を行うもの。

- 稼働日:週3日(日・月・火)
- 運行時間:8時から16時(休憩1Hあり)
- 稼働台数:最大2台/日
- 運賃:和田・丸山地区内1,000円、地区外1,500～5,000円など
- 予約:なし、当日即時稼働のみ
- 予約方法:電話のみ
- 運行範囲:両地区のほか、地区外は指定降車場所のみ
(亀田病院、安房鴨川駅、館山駅、イオンタウン館山店、朝夷行政センター)

- ドライバーは、業務委託契約とし、最低賃金などで拘束時間を補填
 $1140円 \times 8H = 9,120円 \div 10,000円/日の6割$
- 運行管理は、タクシー事業者へ委託
- JR東日本のOB(元社員)の乗務員協力が予定されている

○利用イメージ

- ①電話をかける ②受付・手配 ③ドライバー配車依頼 ④迎車



●地区外は片道とし、タクシー割引券の配布などで、帰りはタクシー利用を促す

運賃 (参考値)	館山駅	安房 鴨川駅	亀田総合 病院	おどや 江見店	イオン 館山店	朝夷行政 センター
丸山地域 センター	5,700円	10,100円	11,300円	5,000円	6,200円	3,400円
和田地域 センター	8,800円	6,600円	7,800円	1,600円	8,700円	5,400円

検討案 公共ライドシェアによる交通空白地域での実証運行

【運行範囲、目的地】

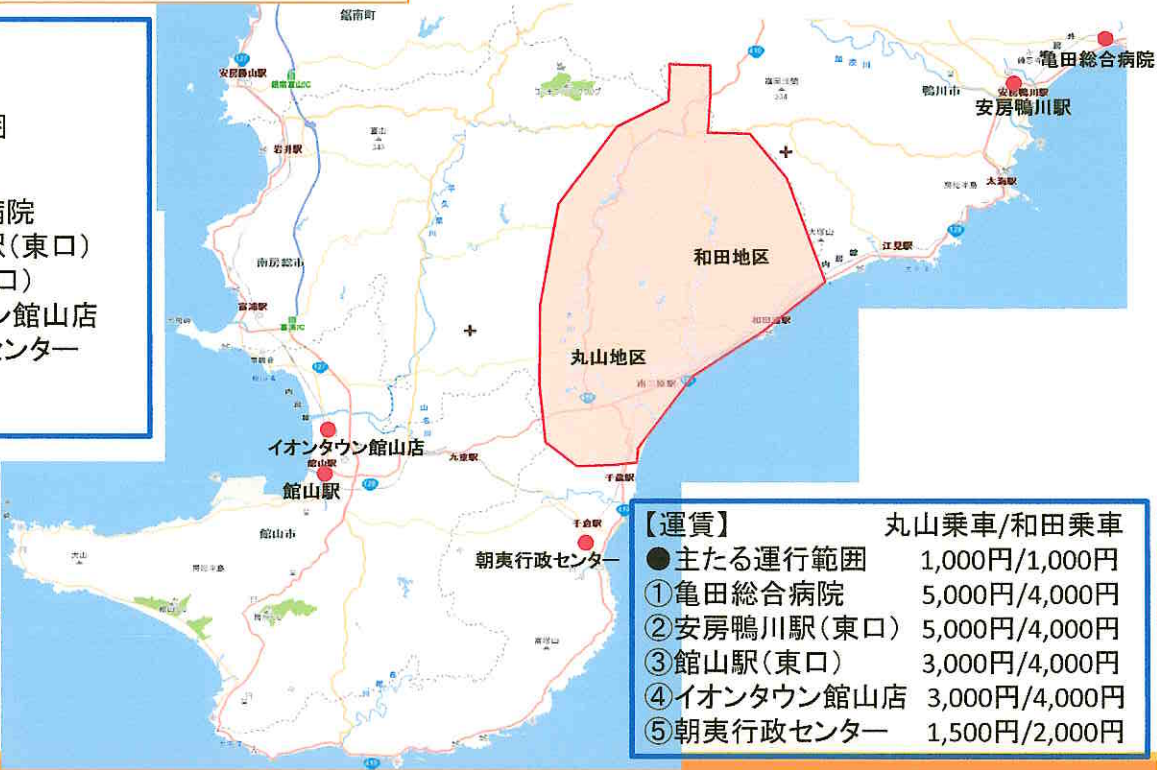
・主たる運行範囲

・目的地
降車場所

- ① 亀田総合病院
- ② 安房鴨川駅(東口)
- ③ 館山駅(東口)
- ④ イオンタウン館山店
- ⑤ 朝夷行政センター

【運行条件】

- ①～④は、片道利用のみ
- ⑤は、往復利用可



【運賃】

	丸山乗車/和田乗車
●主たる運行範囲	1,000円/1,000円
① 亀田総合病院	5,000円/4,000円
② 安房鴨川駅(東口)	5,000円/4,000円
③ 館山駅(東口)	3,000円/4,000円
④ イオンタウン館山店	3,000円/4,000円
⑤ 朝夷行政センター	1,500円/2,000円

検討案 公共ライドシェアによる交通空白地域での実証運行

・目的: 日中帯の移動手段の確保(タクシー需要に対する補完)について、公共ライドシェアの実証運行を行う。

実施形態	公共ライドシェア(道路運送法第78条2号)(事業者協力型自家用有償運送登録)
実施主体	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
運行管理	鏡浦自動車株式会社
運行エリア	南房総市丸山地区及び和田地区(ただし、目的地降車場所として5か所を設定) ① 亀田総合病院、② 安房鴨川駅、③ 館山駅、④ イオンタウン館山店、⑤ 朝夷行政センター ※⑤朝夷行政センターのみ往復利用可としたい
運行時間帯	8時～16時(ただし、ドライバーの休憩時間1H含む)
利用者	制限なし
予約方法	電話受付(7時30分～15時)
ドライバー	南房総市及び館山市在住及び在勤者(協議会と業務委託契約)
車両	ドライバー所有の自家用車(レンタカーも可とする)
ドライバー報酬等	1日6,000円
利用運賃	定額運賃(車内現金支払いのみ、小中学生、障害者、75歳以上の高齢者に割引設定あり) 上記地区内1,000円、目的地降車場所・乗車地区により1,500円～5,000円)
実施期間	2026年10月からの半年間を予定(今のところ令和8年度末まで)
実証に係る費用	2,000千円～2,500千円程度

夜間帯と日中帯の比較

	夜間帯	日中帯
実施形態	公共ライドシェア（道路運送法第78条2号） （事業者協力型自家用有償運送登録）	公共ライドシェア（道路運送法第78条2号）（事業者協力型自家用有償運送登録）
実施主体	南房総・館山地域公共交通活性化協議会	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
運行管理	鏡浦自動車株式会社及び日野自動車株式会社	鏡浦自動車株式会社
運行エリア	南房総市及び館山市域（ただし、発着のいずれかをエリア内とし、鴨川市及び鋸南町までとする）	南房総市丸山地区及び和田地区内とし、目的地降車場所を以下の5か所設定する ①亀田総合病院②安房鴨川駅東口③館山駅東口④イオンタウン館山店 ⑤朝夷行政センター ※⑤のみ往復利用可とする
運行時間帯	21時～翌1時まで	8時～16時まで（ドライバーの休憩時間1h含む）
運行日	7月から週3日（木・金・土）	日・月・火（祝日も運行）※チョイソコわだまるやまの運休日+1日で週3日
利用者	制限なし（専用アプリの登録必須）	制限なし
予約方法	株式会社REA（配車アプリ：房総ライド）	電話受付のみ（7時30分～15時まで）
ドライバー	南房総市及び館山市在住及び在勤者（協議会と業務委託契約）	南房総市及び館山市在住及び在勤者（協議会と業務委託契約）
報酬	運賃の6割（自宅外待機燃料費500円/日）	1日6,000円
車両	ドライバー所有の自家用車（レンタカーも可とする）	ドライバー所有の自家用車（レンタカーも可とする）
車両待機	自宅OR館山駅周辺	両地区内の自宅や、30分以内を目安に迎えに行ける場所
運賃	タクシー運賃相当額 （事前確定運賃制度を適用）	定額運賃（車内現金支払いのみ） 上記地区内1,000円、地区外から目的地降車場所・乗降場所により 1,500円～5,000円 ※運賃は運転手が収受する
割引	適用無し	半額：小学生、中学生、高校生、障害者手帳提示者 未就学児は無料だが、大人との同伴必須とする 75歳以上の高齢者：①～⑤は1,000円程度割引 ※割引併用なし
実施期間	2025年3月3日から（今のところ令和8（2026）年度末まで）	2026年10月からの半年間を予定（今のところ令和8年度末まで）
実証に係る費用	協議会予算額7,176千円	2,000千円～2,500千円程度
タクシー連携	共同告知チラシ作成	利用者に対し、タクシー割引券の配布（1,000円/回）

各種スケジュール等

※通常、公共ライドシェアの実証運行を行うには、活性化協議会（交通会議）にて審議し、千葉運輸支局へ申請が必要（処理期間：2カ月 変更：1カ月程度）だが、今回の実証運行内容は、当初の提出の範囲内のため、ドライバーの追加等がなければ提出は要しない。（千葉運輸支局確認済）

	スケジュール内容
2026年 5月	協議会：実績経過報告
↓	
2026年 7月	タクシー事業者等の関係者事前協議
↓	
2026年 8月	活性化協議会で審議（8月下旬・市議会全員協議会で説明）
↓	
2026年8月下旬 から9月下旬	ドライバー募集及び広報活動等
↓	
2026年10月	10.1から実証運行スタート